

B-1-30 一般病棟における人工呼吸器管理からのウィーニング

医療法人かりゆし会 ハートライフ病院看護部

○喜瀬一也 内間幸人 石川由希 松本靖子 徳比嘉恵

呼吸器内科 普天間光彦

【はじめに】

当院において集中治療室で人工呼吸器からウィーニングできず病棟へ移動となった場合、病棟での人工呼吸器管理は長期化することが多かった。そこで、病棟でのウィーニングを安全かつ積極的に行うためにウィーニングプランのシートを作成しスタッフへその方法やプランの進め方を教育しウィーニングを実施したので報告する。

【対象】

平成 13 年 4 月～16 年 3 月までの間、集中治療室より病棟へ転床となった人工呼吸器装着患者 33 例中の主治医よりウィーニングの指示がでた 20 人を対象とした。

【方法】

ウィーニングプランシートを活用し、呼吸療法認定士を中心に病棟看護師全員でウィーニングプランに添ったケアをおこなった。ウィーニングは主に ON-OFF 法を用いた。

【結果】

ウィーニングを行った 20 人中 9 人人工呼吸器より離脱できた。

プランシートを使用して判断ミスによる呼吸状態の悪化や事故は起きていない

【考察】

- ① ウィーニングプランシートを作成したことで統一した方法でウィーニングを進めることができた。
- ② 個々の患者別にウィーニングの一時中止の指標を決めたことがトラブル回避につながった。
- ③ ウィーニングの方法やプランの進め方について看護スタッフの不安が軽減でき安全かつ積極的に行えるようになった。

【まとめ】

プランシートに添った統一した方法によるウィーニングを行うことで一般病棟でも安全かつ積極的にウィーニングを進めることができた。